

別冊

パソコンバンクサービス(国内版) 【機種変更用】簡易マニュアル

<第2版>

LEAD THE VALUE

目次

STEP 0 事前確認

P.2

- 1 パソコン
(OS/.NET Framework)
- 2 周辺機器
(モデム/プリンタ)
- 3 電話回線

STEP 1 事前作業

P.4

- 1 データのバックアップ

STEP 2 インストール

P.5

- 1 Access Database Engineのインストール
- 2 .NET Frameworkのインストール
- 3 パソコンバンクサービス(国内版)のインストール

STEP 3 データ復旧

P.9

- 1 全銀データベースの復旧
- 2 ANSERデータベースの復旧

STEP4 確認

P.12

- 1 復旧済データの確認
- 2 通信確認
- 3 印刷確認
- 4 ANSERの通信設定
- 5 データ伝送のテスト送信

本書は、機種変更時に必要な対応について記載したマニュアルです。
パソコンバンクサービス(国内版)の通常操作について一定の理解があることを前提としております。

Step 0. 事前確認

1 パソコン

■ OSについて

パソコンバンクサービス(国内版)をインストール可能なパソコンはマイクロソフト社が提供しているWindowsOSに対応したパソコンです。

なお、マイクロソフト社がサポート終了したOSにつきましては、インストールに関するサポートは行うことができませんのでご注意ください。

パソコンバンクサービス(国内版)にインストール可能なWindowsOSの最新情報につきましては、当行ホームページよりご確認ください。

【当行ホームページ操作手順及びURL】

ホーム ▶ 法人のお客さま ▶ 振込入金確認の効率化(EBサービス) ▶
パソコンバンクサービス ▶ パソコンバンクサービス(国内版) ▶ ご利用環境

URL <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/firm/kankyo.html>

※その他ご留意事項につきましても上記ホームページからご確認ください。

■ .NET Framework (ドットネットフレームワーク)について

パソコンバンクサービス(国内版)のご利用には、「.NET Framework3.5」の導入が必要です。「.NET Framework3.5」が導入されていない場合、パソコンバンクサービス(国内版)のセットアップの中でインストールすることができます。

なお、「.NET Framework3.5」のインストール中に発生したエラーにつきましては、当行で対応できませんので、マイクロソフト社のホームページ等でご確認ください。

Step 0. 事前確認

2 周辺機器

■ モデム

ご利用のWindowsOSに対応したモデム(全二重非同期式)をご用意ください。
モデムを利用するには、専用のドライバをインストールする必要があります。
インストール方法につきましては、付属の説明書もしくはメーカーのホームページで
ご確認ください。

【稼働確認済の全二重非同期式モデム】

メーカー名	機種名
I/Oデータ製	DFM-56U USB-PM560ER
ラトックシステム	REX-USB56

※上記以外のモデムでもご利用いただけます。

■ プリンタ

A4単票出力が可能なプリンタでご利用ください。
※ドットインパクト(連続帳票式)プリンタはご利用いただけませんのでご注意ください。

3 電話回線

一般公衆回線をご利用ください。
ビジネスホンでご利用の電話回線、光回線ではご利用いただけませんのでご注意
ください。

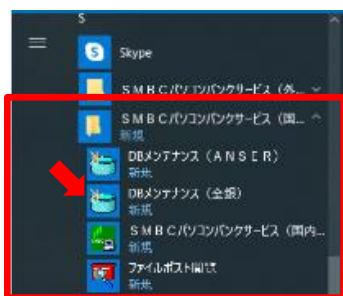
Step 1. 事前作業

1 データのバックアップ

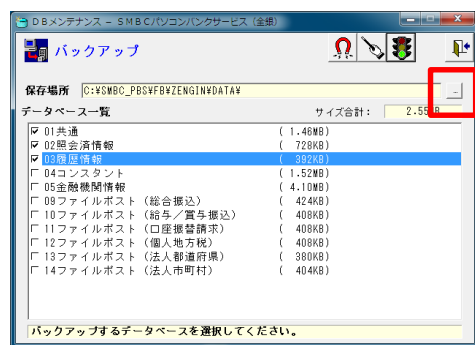
- 現在ご利用中の全銀、ANSERそれぞれのデータのバックアップを取得してください。

全 銀

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービス（国内版）」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンス（全銀）」をクリックしてください。



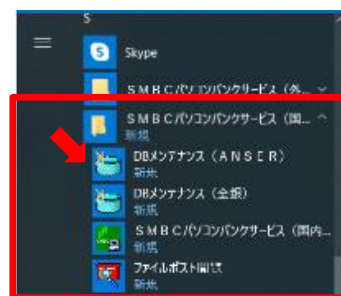
- 2 DBメンテナンス画面から「バックアップ」を選択してください。
- 3 【フォルダ選択】ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。



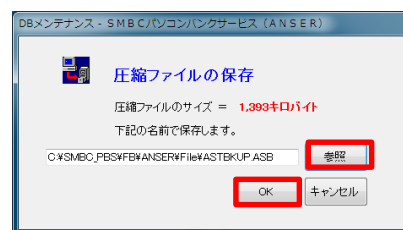
- 4 【全選択】ボタンをクリックしてください。
- 5 【開始】ボタンをクリックしてください。
- 6 バックアップ取得の確認メッセージが表示されますので【はい】をクリックすると、データのバックアップが完了します。

ANSER

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービス（国内版）」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンス（ANSER）」をクリックしてください。



- 2 DBメンテナンス画面から「バックアップ」を選択してください。
- 3 「マスタの退避を行います」のメッセージが表示されますので、【OK】ボタンをクリックしてください。
- 4 「データベースファイルの圧縮」のメッセージが表示されますので、【OK】ボタンをクリックしてください。
- 5 保存場所の確認画面が表示されます。【参照】ボタンより保存場所を指定し、【OK】ボタンをクリックすれば、データのバックアップが完了します。



バックアップ完了

Step 2. インストール

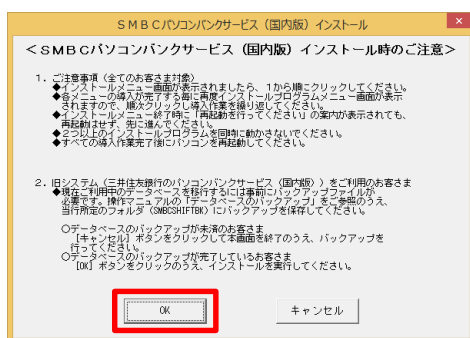
1 Access Database Engineのインストール

新しいパソコンのCD-ROMドライブにパソコンバンクサービス（国内版）のCD-ROMをセットしてください。自動的にインストール時のご注意画面が表示されます。

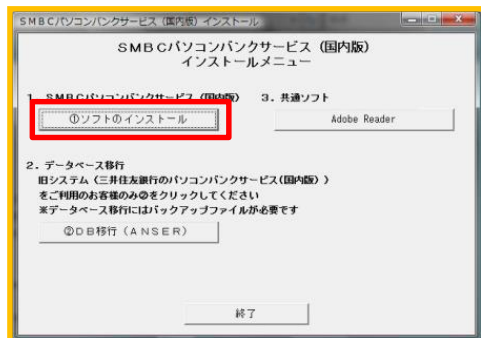
※ インストールにはWindowsの管理者権限（アドミニストレータ）が必要です。

※ 自動で表示されない場合は、エクスプローラーからCD-ROMドライブの中にあるSetupMenu.exeを実行してください。

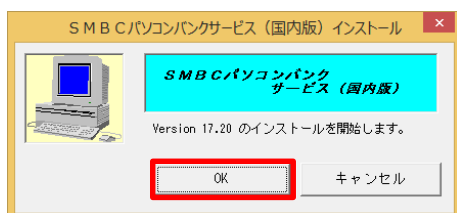
1 【OK】ボタンをクリックしてください。



2 インストールメニュー画面が表示されますので、「①ソフトのインストール」をクリックしてください。



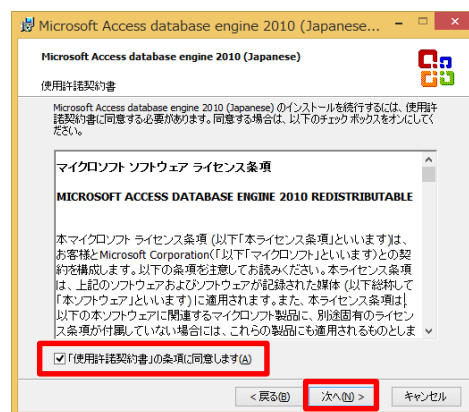
3 バージョンの確認画面表示されますので【OK】ボタンをクリックしてください。



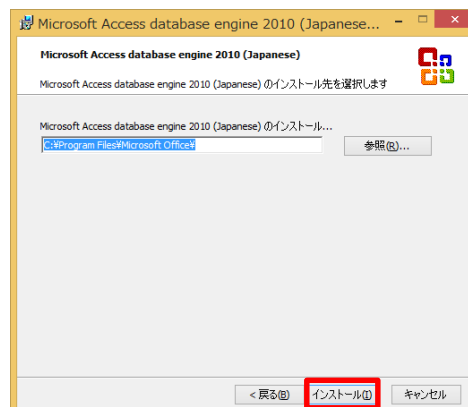
4 「Access Database Engine」の導入が自動的に開始されます。【次へ】ボタンをクリックしてください。

※導入済の場合はP6の参考1をご覧ください

5 【「使用許諾契約書」の条項に同意します】にチェックし、【次へ】ボタンをクリックしてください。

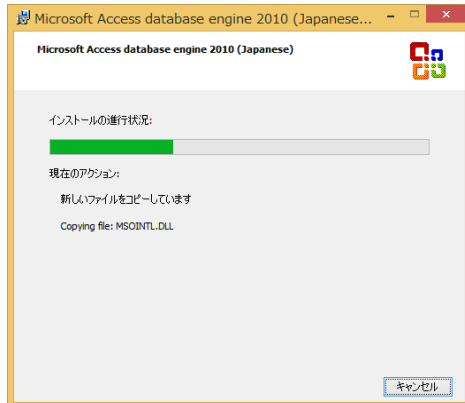


6 インストール先の確認画面が表示されます。そのまま【インストール】ボタンをクリックしてください。

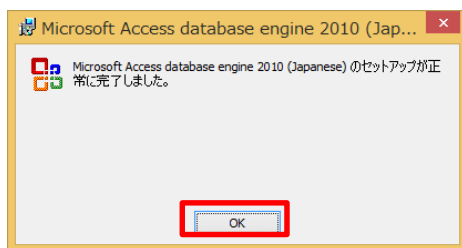


Step 2. インストール

- 7 インストールが開始されますので、100%になるまでお待ちください。



- 8 正常完了のメッセージが表示されれば完了です。【OK】ボタンをクリックしてください。

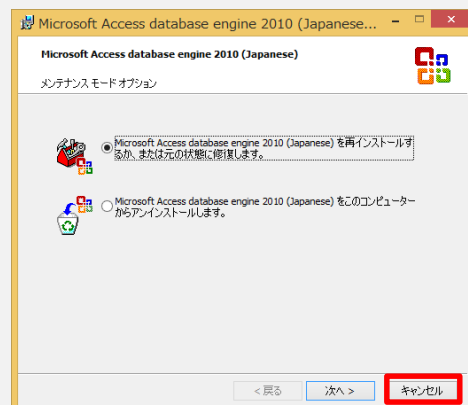


インストール完了

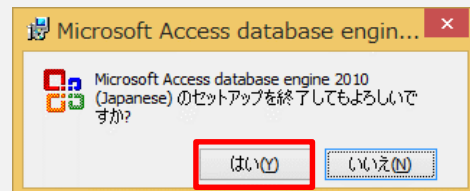
参考1 導入済みの場合の操作

すでにAccess Database Engineが導入されている場合は、以下操作にて導入をキャンセルしてください。

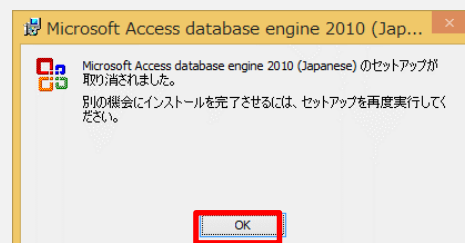
- 1 下記画面が表示されましたら【キャンセル】ボタンをクリックしてください。



- 2 セットアップの終了の確認メッセージが表示されますので【はい】ボタンをクリックしてください。



- 3 下記画面が表示されましたら【OK】ボタンをクリックしてください。



Step 2. インストール

2 .NET Frameworkのインストール

.NET Framework3.5が導入されていない場合、Access Database Engineのインストール完了後にインストールの確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックし、インストールが完了するまでお待ちください。確認画面が表示されない場合は、次にお進みください。

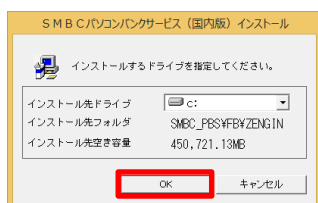
※ パソコンによって、インストールにかかる時間は異なります。



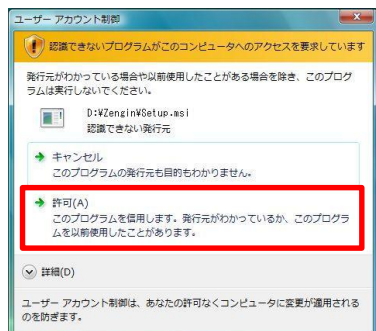
インストール完了

3 パソコンバンクサービス(国内版)のインストール

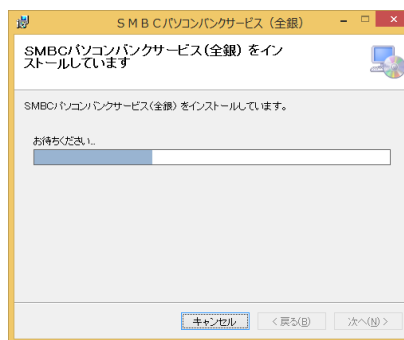
- 1 インストール先ドライブの確認画面が表示されますので、インストール先ドライブを選択し【OK】ボタンをクリックしてください。



- 2 ユーザーアカウント制御の画面が表示されますので「許可」を選択してください。



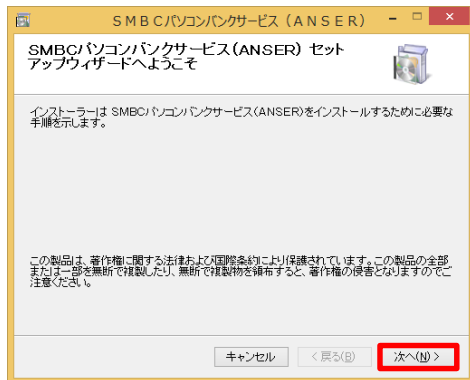
- 3 インストール準備中の画面が表示された後、引き続きインストールの導入画面が表示されます。100%になるまでお待ちください。



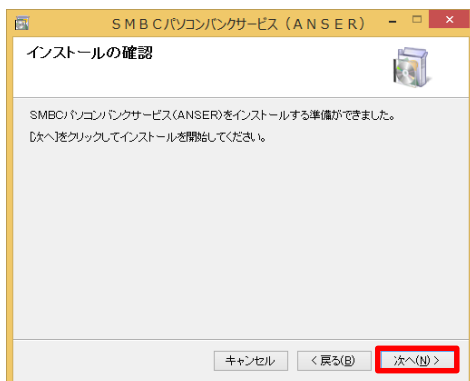
- 4 インストール完了の画面が表示されましたら【閉じる】ボタンをクリックしてください。

Step 2. インストール

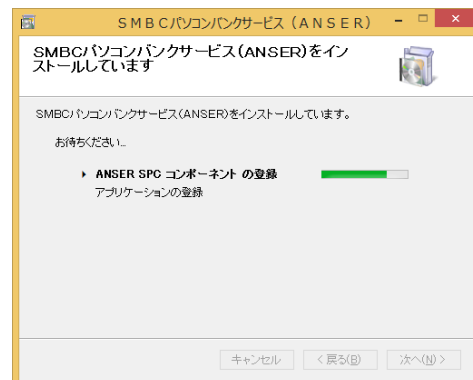
- 5 引き続きANSERのセットアップ画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。



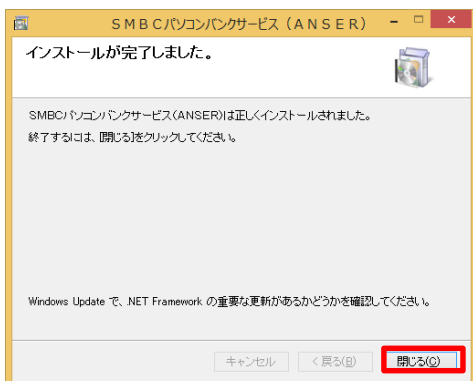
- 6 インストールの確認画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。



- 7 進捗状況の確認画面が表示されます。100%になるまでお待ちください。



- 8 インストール完了の画面が表示されましたら【閉じる】ボタンをクリックしてください。



- 9 しばらくお待ちいただくと「インストール処理が完了しました」のメッセージが表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。

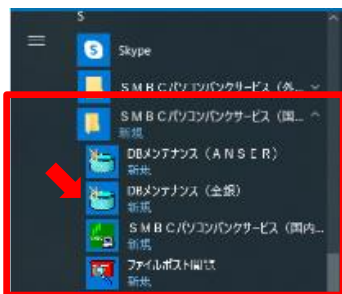
インストール完了

すべてのインストールが完了しましたら、インストールメニュー画面を終了し、CD-ROMを取り出した後、パソコンを再起動してください。

Step 3. データ復旧

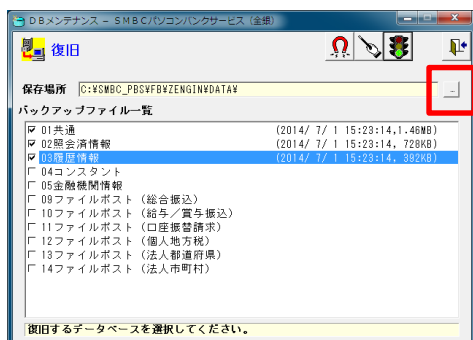
1 全銀データベースの復旧

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービス（国内版）」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンス（全銀）」をクリックしてください。



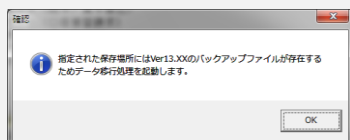
- 2 DBメンテナンス画面から「復旧」を選択してください。

- 3 復旧画面が表示されましたら、【フォルダ選択】ボタンをクリックし、取得したバックアップファイルの保存場所を指定してください。その後、復旧対象のファイルをバックアップファイル一覧から選択してください。



確認メッセージが表示された場合①

〈保存場所〉を指定した際に「Ver13.XXのバックアップファイルが存在する…」旨のメッセージが表示された場合は、次頁「Ver13からの復旧」をご覧ください。

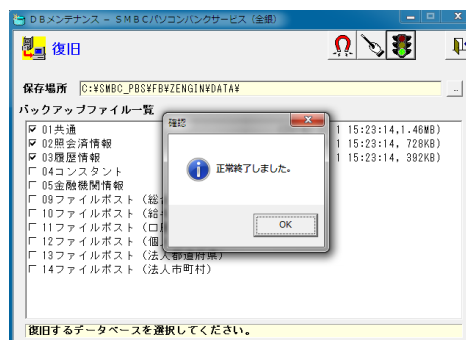


- 4 【開始】ボタンをクリックしてください。

- 5 確認画面が表示されます。【はい】ボタンをクリックしてください。

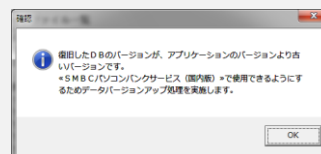
- 6 「正常終了しました」のメッセージが表示されればデータベースの復旧は完了です。続けて

P11 2 「ANSERデータベースの復旧」にお進みください。



確認メッセージが表示された場合②

【OK】ボタンをクリックした際にデータバージョンアップ処理の確認画面が表示された場合は、次頁「Ver14、15からの復旧」をご覧ください。



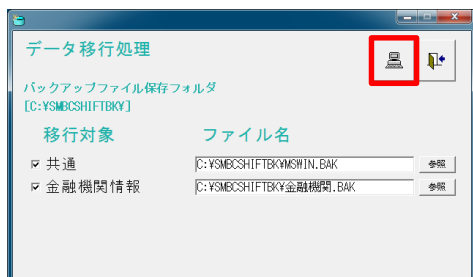
復旧完了

Step 3. データ復旧

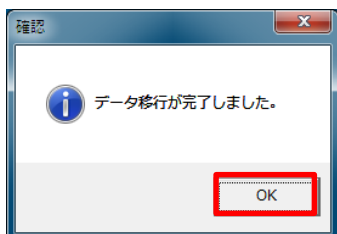
バージョン13.XXからの復旧

以前にご利用のパソコンバンクサービスのバージョンが13.XXの場合は以下の方法で復旧してください。

- 1 確認メッセージは【OK】ボタンをクリックしてください。
- 2 データ移行処理画面が表示されます。ファイル名に記載の保存場所を確認し
 【開始】ボタンをクリックしてください。



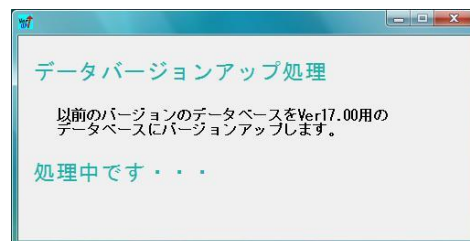
- 3 データ移行の確認画面が表示されます。【はい】ボタンをクリックしてください。移行処理が完了するまでお待ちください。
 ※データベースのファイルサイズによっては移行に時間がかかることがあります。
- 4 「データ移行が完了しました」のメッセージが表示されれば完了です。【OK】ボタンをクリックしてください。



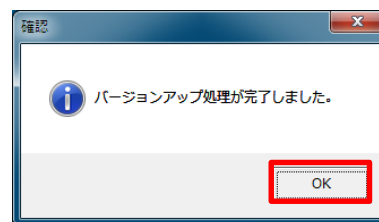
バージョン14、15からの復旧

以前にご利用のパソコンバンクサービスのバージョンが14、15の場合は以下の方法で復旧してください。

- 1 確認メッセージは【OK】ボタンをクリックしてください。データバージョンアップ処理が自動的に開始されますのでしばらくお待ちください。
 ※データベースのファイルサイズによっては移行に時間がかかることがあります。



- 2 「バージョンアップ処理が完了しました」のメッセージが表示されれば完了です。【OK】ボタンをクリックしてください。



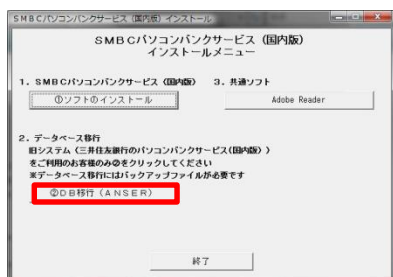
復旧完了

Step 3. データ復旧

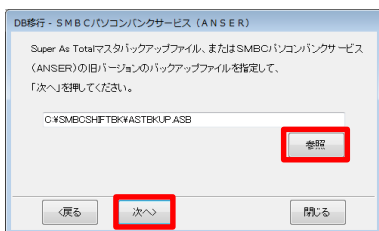
2 ANSERデータベースの復旧

バージョン13からの復旧

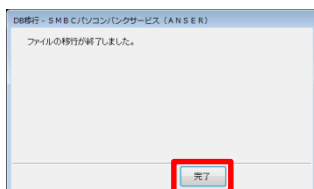
- 1 パソコンバンクサービス国内版のインストールメニューより、「② DB 移行 (ANSER)」ボタンをクリックしてください。



- 2 「データ移行確認」画面が表示されたら、【はい】ボタンをクリックしてください。
- 3 「移行ツール初期」画面が表示されたら、【次へ】ボタンをクリックしてください。
- 4 「移行ツール実施確認」画面が表示されたら、【次へ】ボタンをクリックしてください。
- 5 「移行元データファイルの指定」画面が表示されたら、【参照】ボタンをクリックしてください。取得したバックアップファイルの保存場所を指定の上、【次へ】ボタンをクリックしてください。

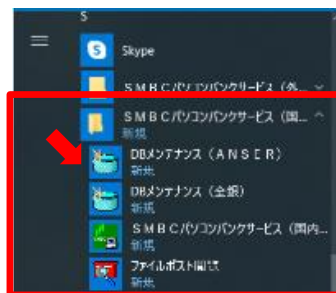


- 4 「ファイルの移行が終了しました」の画面が表示されれば完了です。【完了】ボタンをクリックしてください。

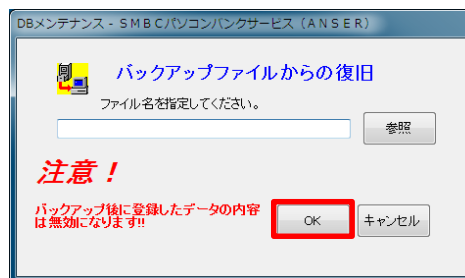


バージョン14以上からの復旧

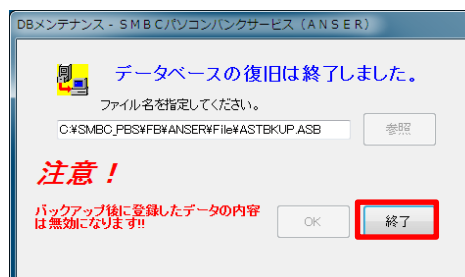
- 1 Windowsのスタートボタンから「SMB C パソコンバンクサービス (国内版)」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンス (ANSER)」をクリックしてください。



- 2 DBメンテナンス画面から「復旧」を選択してください。
- 3 バックアップファイルからの復旧画面が表示されたら、【参照】ボタンをクリックしてください。取得したバックアップファイルの保存場所を指定し、【OK】ボタンをクリックしてください。



- 4 「データベースの復旧処理が終了しました」の画面が表示されれば完了です。【終了】ボタンをクリックしてください。



復旧完了

Step 4. 確認

1 復旧済データの確認

全銀データベース、ANSERデータベースのデータベース復旧処理が完了後、パソコンバンクサービス(国内版)を起動し、日常ご利用されているサービスのデータ有無をご確認ください。

金融機関コード検索サービスについて

金融機関コード検索サービスにつきましては、2019年の6月末をもってサービスを終了しました。

2019年7月以降は、当行ホームページより最新の金融機関コードのデータベースファイルを取得できますので、そちらをご利用ください。

【当行ホームページ操作手順及びURL】

ホーム ▶ 法人のお客さま ▶ 振込入金確認の効率化(EBサービス) ▶
パソコンバンクサービス ▶ パソコンバンクサービス(国内版) ▶ サービスメニュー

URL <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/firm/service/>

【当行ホームページ画面】

パソコンバンクサービス
(国内版)

サービスメニュー

ご利用料金

ご利用環境

オプションサービス

お問い合わせ

サービスメニュー

サービスメニュー

基本サービス

取引照会サービス	預金残高、振込入金明細、ご利用明細、振入明細	
資金移動受付サービス	振込・振替サービス	当日の振込・振替、振込・振替の予約(翌営業日以降5営業日後までの予約)〔注1〕、〔注2〕、〔注3〕
	データ伝送サービス	総合振込、給与(貸与)振込、口座振替請求、個人地方税納付、法人地方税納付
	データ伝送の合計報告	総合振込、給与(貸与)振込、個人地方税納付においてデータ伝送後の振込件数・振込金額の当行宛確認を、パソコンから直接行えます データ伝送の合計報告の画面例
	口座振替処理結果明細のご照会	お振替日の翌営業日13時からご照会いただけます
	データ伝送内容のご照会	ご送信された内容をご送信当日にご照会いただけます

金融機関コード検索サービス
(注4)

お振込の際に必要な受取人の銀行コードや支店コードの検索が可能です。最新の金融機関コードのマスタファイルをダウンロードの上、ご利用ください。更新方法の操作マニュアルは [こちら](#)

■ 金融機関コードのマスタファイル(2019年7月末時点)

- ※ バージョン15.10以上をご利用のお客さま
[ダウンロードの実行\(xpファイル\)](#)
- ※ バージョン14.00~15.01をご利用のお客さま
[ダウンロードの実行\(xpファイル\)](#)

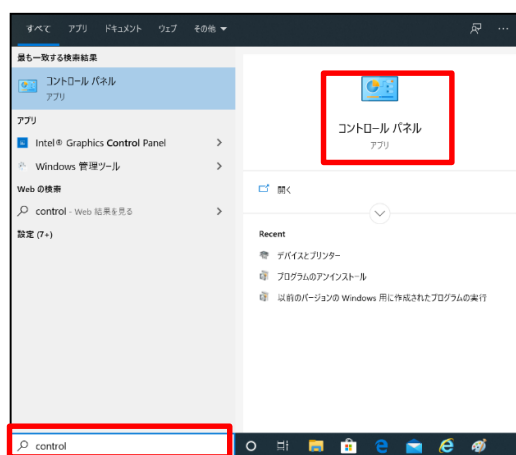
Step 4.確認

2 通信確認

取引口座照会、データ伝送(総合振込、給与振込等)いずれかのご利用サービスを用いて通信確認を行ってください。ANSERサービスをご利用のお客さまはP14 4「ANSERの通信設定」もご覧ください。総合振込、給与振込等のデータを使ってテスト送信を行う場合は、P15 5「データ伝送のテスト送信」をご覧ください。なお、通信確認を行う前に、あらかじめご利用モデムのセットアップならびに電話回線がご利用のモデムに接続されているか確認したうえで通信確認を行ってください。

モデムの接続状況の確認方法(Windows10)

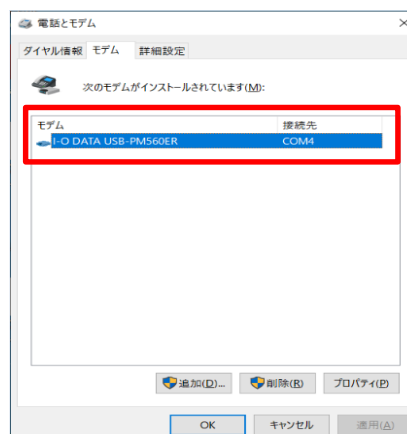
- 1 Windowsのスタートボタンの横にある「ここに入力して検索」に“control”と入力しコントロールパネルをクリックしてください



- 2 表示方法のカテゴリから[大きいアイコン]または[小さいアイコン]をクリックしてください。



- 3 [電話とモデム]のアイコンがありますのでクリックした後、[モデム]のタブをクリックしてください。



✓ **モデム名が表示されていない場合**

モデム名が表示されていない場合は、モデムドライバのインストールに失敗している可能性があります。その場合はモデムに付属のマニュアルもしくはメーカーのホームページでモデムドライバのインストール方法をご確認ください。

✓ **接続先が正しく表示されていない場合**

接続先が“存在しません”と表示される場合は、パソコンとモデムが正しく接続されていない可能性があります。パソコンを再起動しても事象が変わらない場合は、モデムに付属のマニュアルやメーカーのホームページで対処方法をご確認ください。

3 印刷確認

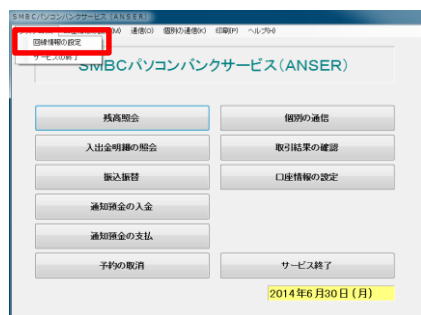
パソコンバンクサービス(国内版)を起動し、普段ご利用されているサービス画面から帳票が正しく出力されるかご確認ください。

4 ANSERの通信設定

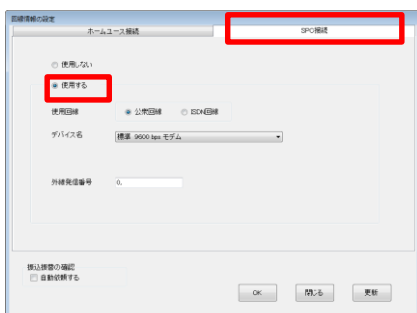
パソコンの機種変更やモデムを変更した場合は、ANSERサービスで利用するモデムの選択が必要です。

ANSERサービスの通信設定

- 1 ANSERサービスのメニューより
[システム][回線情報の設定]をクリックしてください。

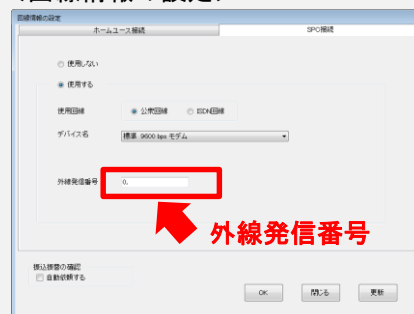


- 2 [SPC接続]のタブをクリックし、"使用する"を選択し、デバイス名にご利用のモデムを選択してください。



- 3 外線発信する電話番号をご利用の場合

<回線情報の設定>



- 3 外線発信する電話回線をご利用の場合は、局番の前に0等の番号をつけて外線発信番号(0等)を入力してください。
※外線発信番号の後に「,(カンマ)」を必ず入力してください。

「電話とモデムのオプション」画面で外線発信番号を既に入力している場合は本画面での設定は不要です

国/地域(B):	日本	市外局番(C):	03
ダイヤル情報 この所在地からダイヤルするとき適用する規則			
市内通話の場合の外線発信番号(L):	0		
市外通話の場合の外線発信番号(D):	0		
市外通話に使用する電話会社の識別番号(E):			
国際通話に使用する電話会社の識別番号(F):			

- 4 【OK】ボタンをクリックしてください。

Step 4.確認

5 データ伝送のテスト送信

当行あての総合振込等のテスト送信を行うには、テスト環境への変更操作が必要です。また、テスト送信を行う際は、以下条件で行ってください。

条件

- ✓ テスト送信の振込明細の件数は2件以上ご準備ください。
- ✓ 振込金額は各明細につき1円以上で設定してください。
- ✓ 振込指定日はテスト送信実施日の20営業日前～送信実施日前営業日の過去日付を指定してください(過去日付に休日を指定した場合エラーとなります)。
- ✓ テスト送信は銀行営業日9:00～19:00の時間帯で行ってください。

テスト環境への変更

- 1 メインメニューから[口座情報・運用環境登録]をクリックし、[全銀システム通信情報登録]をクリックしてください。

- 2 センター一覧画面が表示されますので「三井住友銀行センター／テスト用」を選択し【変更】ボタンをクリックしてください。

- 3 銀行センター確認コードが「0009000000000000」であることをご確認ください。

- 4 テスト送信でご利用の出金口座が東日本の取引店の場合は【↑設定(東京)】ボタンを、西日本の取引店の場合は【↑設定(大阪)】ボタンをクリックしてください。

- 5 電話番号が東日本(西日本)地区、いずれかの番号に変わったことを確認いただいた後、【保存】ボタンをクリックしてください。

地区	電話番号
東日本(静岡より以东)	03-5444-4800
西日本(愛知より以西 (福井、富山)を含む)	06-6258-5200

- 6 【メニューへ】ボタンをクリックし、[口座情報・運用環境登録]のサブメニューに戻り、[全銀システム口座情報登録]をクリックしてください。

- 7 口座情報一覧画面から、今回テスト送信でご利用の出金口座を選択し、【変更】ボタンをクリックしてください。

- 8 現在の設定されている銀行センター確認コードを控えたのち、テスト用の銀行センター確認コード「0009000000000000」に変更し、【保存】ボタンをクリックしてください。

テスト送信

総合振込でテスト送信を行う場合の要領は以下の通りです
(他のサービスで行う場合も同じ要領で行ってください)

- 1 メインメニューから総合振込をクリックし、出金口座情報の画面から、【新規登録】ボタンをクリックし、【口座一覧】ボタンより、先ほど変更した出金口座を選択し、総合振込用の会社コードを選択してください。

- 2 振込日を20営業日前～送信実施日前営業日の過去日付を指定し、【保存】ボタンをクリックしてください。
- 3 振込先明細の画面から2件以上のデータを作成し、それぞれ1円以上の金額を指定してください。
- 4 振込明細内容確認画面より【確認】ボタンをクリックし、送信画面に進んでください。

- 5 銀行センター確認コードがテスト用のコードが選択されているのを確認し、通信暗証、送信暗証を入力して通信してください。

✓ **通信時にモデムの選択が表示された場合**

新しいパソコンで通信を行った場合、モデムの選択画面が表示される場合があります。その際は、インストールしたモデムを選択してください。
誤ってモデム以外のもの(WAN MiniportXXX)を選択した場合は、次頁の参考2を参照の上、ダイヤルアップを削除してください。

- 6 テスト送信が完了しましたら、出金口座情報より、テストデータを削除してください。
- 7 メインメニューから口座情報運用環境登録をクリックし、口座情報登録画面からテスト送信で利用した出金口座を選択し、銀行センター確認コードを元のコードに戻してください。

テスト完了

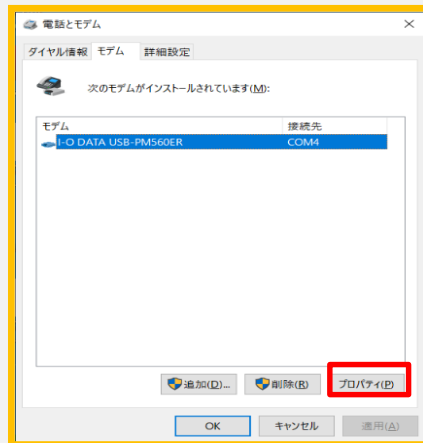
通信エラーが発生した場合の確認方法について

P13でモデムのドライバを入れ直したにも関わらず、パソコンバンクサービスからの通信ができない場合は、以下内容を参考にご対応ください。

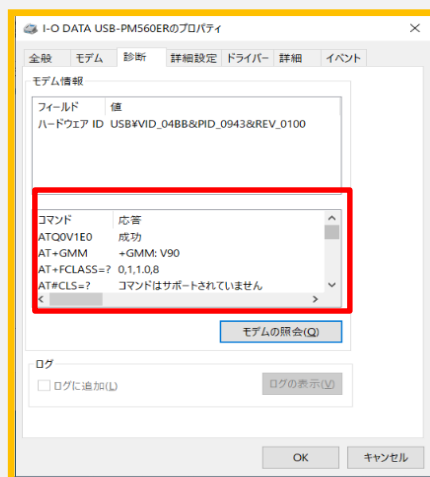
参考1 モデムの動作確認

モデムとパソコンが正常に動作しているかは以下方法にて確認可能です。

- ① コントロールパネルより[電話とモデム]のアイコンをクリックしてください。
- ② [モデム]のタブをクリックし、使用するモデムを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



- ③ [診断]のタブをクリックし、「モデムの照会」ボタンをクリックしてください。応答の欄に“成功”の文言が表示されていれば正常に動作しています。



参考2 ダイヤルアップ接続の確認方法①

モデムは正常に動作するもののパソコンバンクサービスより通信ができない場合、ダイヤルアップより接続確認を行う方法が有効です。

- ① コントロールパネルより[ネットワークと共有センター]のアイコンをクリックします。
- ② 画面左側にある「アダプターの設定の変更」をクリックします。



- ③ パソコンバンクサービスで利用のSMBC_PBSアイコンにモデムの名称が表示されていますので、ご確認ください。



✓ モデム名がWAN Miniportになっている場合

SMBC_PBSアイコンのモデム名がWAN Miniportになっている場合は、パソコンバンクサービスの初回通信時にモデム以外のものを選択された可能性があります。

その場合は、SMBC_PBSのダイヤルアップアイコンを右クリックで削除し、再度パソコンバンクサービスより通信を行ってください。

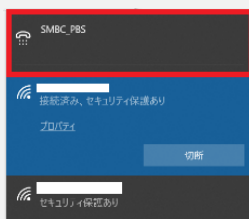
参考2 ダイアルアップ接続の確認方法②

確認方法①でモデムが正しく表示されている場合は三井住友銀行に直接接続をして通信確認を行います。

- 1 SMBC_PBSのダイアルアップアイコンを選択し、「この接続を開始する」をクリックします。



- 2 画面右側にネットワークの接続の一覧が表示されますので、SMBC_PBSをクリックしてください

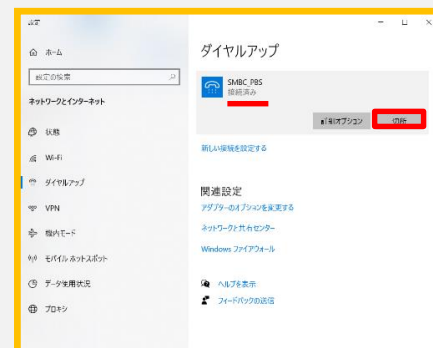


- 3 SMBC_PBSのアイコンをクリックすると「接続」ボタンが表示されますので、クリックしてください。



- 4 SMBC_PBSへ接続の画面が表示されますので、ダイヤル先に三井住友銀行センターの電話番号を入力し、ダイヤルボタンをクリックしてください。

東日本の勘定店: 03-5444-4800
西日本の勘定店: 06-6258-5200



SMBC_PBSのダイアルアップアイコンの下に“接続済み”と表示されればモデムと電話回線が利用可能な状態です。

接続できましたら切断ボタンをクリックしてください。

✓ ダイヤルアップ接続時に678や680のエラーコードが発生する場合

上記エラーは電話回線の接続や種別が異なる場合に発生します。その場合は以下内容を確認してください。

- a. モデムに電話回線の差し込み口が二つある場合、LINEもしくは回線と記載のある差し込み口に挿し直してください。
- b. 回線種別(トーン or パルス)が誤っている可能性があります。
- c. 0発信等、外線発信番号が必要な電話回線を利用されている可能性があります。

※1 回線種別の変更(b.)や外線発信番号の付加(c.)は「電話とモデム」のダイヤル情報のタブから「編集」ボタンと進むことで変更可能です。

※2 外線発信番号の付加が必要な場合は上記画面では設定せず、次の参考3に記載の方法でそれぞれ設定してください。

参考3 ソフト上の回線種別の変更箇所

ダイヤルアップアイコンから接続ができるが、パソコンバンクサービスから通信すると9001や9120等のエラーが引き続き発生する場合は、ソフト上の設定を変更することで解決する場合があります。

全銀

- 1 パソコンバンクサービスのメインメニューより「口座情報運用環境登録」の「全銀システム通信情報登録」をクリックしてください。
- 2 ダイヤル形式の変更や外線発信番号の付加を必要に応じて行い、Enterキーを押してください。保存するかどうかの確認メッセージが表示されますので「はい」ボタンをクリックしてください

ANSER

P14のANSERの通信設定を参考に外線発信番号を付加してください。

お問い合わせ（くわしくは、三井住友銀行のEBサービスセンターへ、お気軽にご相談ください）

三井住友銀行の
EBサービスセンター



0120-286-201

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00
（銀行休業日を除きます）

お電話が込み合っている場合、本件に関する電話サポートについて翌営業日とさせていただきます。

（2020年6月現在）



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION